## 第50回 環境部会チーム 議事録

日時:6月17日(日)9時40分~12時

場所:境谷会館管理室

出席:外村、長澤、長瀬、平井、福富、藤原

### 1. 本年度スケジュール

1)メンバー抱負

自己紹介のあと、

- 活動を通してまちづくりの輪をひろげたい。
- ・花とみどりマップ、ポストカード、通りの愛称づくり、ホームページなどを通して、ま ちの魅力を、市内だけでなく京都府外にも発信したい。
- ・行政(緑政課など)と委員の参加などによりパイプを持ち、情報提供、意思の疎通を図りたい。
- ・行動力で形あるものを作りたい。
- ・洛西ニュータウンの緑の魅力をホームページ(まちボタン)で外に発信したい。春の新緑やナンジャモンジャの花など、九州や関東の人も注目している。緑政課との連携で、ナンキンハゼはスキ刈り剪定により丸裸にならずに済んだ。樹木の特徴に応じた選択的剪定が必要である。
- ・議論を十分尽くしたものについては、決定と実施の年にしたい。

など、本年度の抱負が述べられた。

- 2) 本年度スケジュール
- ・本年度取り組みテーマは、それぞれ秋の「楽祭 in らくさい」までに一定の形をつくる。
- ・詳しい工程表は、7月の会議で決定する。2月いっぱいで本年度作業は収束するように する。

#### 2. 緑のガイドライン

- 1) 2009年の上田先生、平井氏による「まちづくり勉強会」、今春の「樹木見て歩き」 というこれまでの流れを踏まえ、「緑のガイドライン」の目的を京都新聞記事により再確 認した。
- 2)「緑のガイドライン」素案をもとに、くわしく内容を検討した。
- 「はじめに」は、わかりやすく、すーっと流れるように。

- ・「3. 植栽管理の基本指針」では、緑道の項目では具体的提案は省略し、落ち葉の項目はも う少し詳しくする。
- ・「4. 市民とともに成熟する洛西ニュータウンの緑」では、害虫対策を加える。
- 3) 修正された素案をもとに、一か月以内に、平井、藤原両名が、緑政課(できれば北部 緑管理事務所も)と下打合せを行い、結果を持ち帰り、全体会議に諮る。

その後自治連の会長も招いて説明会兼まち歩きを行い、内容の理解をしていただき、各 自治連に持ち帰って意見の集約をお願いする。

自治連会議には、環境部会としては、積極的に参加し説明を行う。

#### 3. ゴミゼロ宣言

- 1) 昨年は、ゴミゼロまちづくりのための勉強会などを開催した。
- 2) 環境部会として、この秋をめどに「洛西ニュータウンごみゼロ宣言」実現に向けて進めていくことを、全会一致で決定した。
- 3)「洛西ニュータウンごみゼロ宣言」の文言は、以下の通りとする。

「私たちは、住民と力をあわせ、様々な活動をとおして、洛西ニュータウンをごみのないクリーンなまちにしていきます。」

新林自治連合会 会長	$\bigcirc\bigcirc$	$\bigcirc$
境谷自治連合会 会長	$\bigcirc\bigcirc$	$\bigcirc$
竹の里自治連合会 会長	$\bigcirc\bigcirc$	$\bigcirc$
福西自治連合会 会長	$\bigcirc\bigcirc$	$\bigcirc$
RCV 代表取締役	$\bigcirc\bigcirc$	$\bigcirc$
ラクセーヌ商店会 代表	$\bigcirc\bigcirc$	$\bigcirc$
ホテルエミナース 支配人	$\bigcirc\bigcirc$	$\bigcirc$
京都市住宅供給公社洛西事業部	$\bigcirc\bigcirc$	$\bigcirc$
洛西ニュータウン創生推進委員会 委員長	$\bigcirc\bigcirc$	$\bigcirc$

- 4) 今後のスケジュール
- ・ 来月の環境部会までに、各自、具体的な活動に関する提案を考えてくる。
- ・ 来月の部会で素案を決定する。
- ・ 自治連会長には持ち帰ってもらい、各自治会の意見を聴いていただく。その場合環境部 会からも出向いて説明を行う。

## 4. わかりやすく親しみのある通りの愛称づくり

- ・ 京都新聞により、目的など概要説明。
- ・ 昨年の魅力発見・発信プロジェクトでの Q+A について・・・サイン付け替え工事は、業者見積もりでは、1 基あたり 4 万円。寄付と税金により行うことになるものと想定される。

- ・ 吹田市の「愛称を付けたい道募集」記事紹介。
- ・ 通りの愛称づくりは、はじめから全部の通りを対象に進めるのではなく、特徴のある通りから始める。
- ・ この秋までに結果を出す「緑のガイドライン」、「ごみゼロ宣言」を優先するが、「楽祭 in らくさい」で愛称を付けたい通りについて住民に問えるよう、すこしずつ準備を進める。
- ・ 通りの愛称づくりは、洛西の魅力である緑を守り、その魅力を外部に発信するためにも 必要であると賛同があった。
- 今後は、行政と連携して進めるべきである。
- ・ これまでの資料や Q+A は、ホームページ: まちボタン→創生推進委員会→環境部会→環境資料館→通りの愛称づくり、に掲載している。
- ( http://rakusaikankyo.jimdo.com/通りの愛称づくり/ )

# 5. その他

をすることとした。

- 1) 西京・区民提案活動サポート制度 (※について
- \*\* <a href="http://www.city.kyoto.lg.jp/nisikyo/page/0000122112.html">http://www.city.kyoto.lg.jp/nisikyo/page/0000122112.html</a>
  福富氏より、同制度に関して、落ち葉を含んだごみの分別、落ち葉のたい肥化施設づくりについての提案があった。一斉清掃などの機会に、賛同してもらえる自治連などと連携。環境部会としては趣旨に賛同し、同氏が次回環境部会までに企画書を作成し、次回詳しい議論
- 2) 次回環境部会は、7月15日(第3日曜日)9:30~ 竹の里会館で行う。